

平成 29 年 12 月 21 日

東京大学、東京工業大学、慶應義塾大学連携講座

1. 実施日

平成 29 年 12 月 11 日（月）、12 日（火）

2. 参加者

1 年 男子 12 名、女子 9 名 計 21 名

3. 引率者

校長 三上、1 年学年主任 矢田

4. 日程、内容等

(ア) 12 月 11 日（月）

① 出発

1 年生男子 12 名、女子 9 名（引率 2 名）

が 7 時 28 分に長浜駅を出発、7 時 57 分米原発のひかり 508 号で、東京を目指しました。途中快晴の中富士山が迎えてくれました。東京駅に 10 時 10 分に着き、東京大学に 11 時前に到着しました。



② 東京大学

正門で、虎姫高校 OB の東京大学大学院教授高田毅士先生に出迎えて頂きました。先ず銀杏の黄色に見事に彩られた並木道を歩き、安田講堂で集合写真を撮りました。そのあと、



銀杏並木の横の生協銀杏メトロ食堂で昼食をとりました。混雑を避けて少し早めの昼食でした。生徒は東京大学の雰囲気を感じながら、自分の好みのメニューを頼んでいました。

その後、高田先生に、工学部と理学部を中心にキャンパス案内をして頂きました。東京大学のキャンパスは、伝統と新しさが複雑に調和していました。工学部 1 号館では、おしゃれな建築科の図書館を見学しました。アカデミックな雰囲気に、皆気が引き締まる思いでした。

理学部では、ノーベル物理学賞を受賞された小柴昌俊教授と梶田隆章教授の展示を見学しました。世界をリードする日本の素粒子物理学のリーダーの展示を生徒たちはとても興味深く見学していました。

三四郎池にも立ち寄りました。都会の中の静寂が、東大生の思索を深めているような気がしました。



工学部 1 1 号館の屋上で記念写真を撮ったあと、7 階の講義室で、高田先生のご講義を拝聴しました。ご講義の冒頭で、虎姫高校の生徒へ、一生を俯瞰した中での高校時代と大学時代の意味について先生からのメッセージを頂きました。一番長い就職期間の充実の為に、高校ではしっかり勉学にいそしみ、大学では視野を一層広げることの大切

さ、英語をしゃべれることの重要さ等を教えて頂きました。その後の建築学入門では、建築の基本と、先生自身が撮影された印象的な建築物の写真を見せて頂きました。質疑応答の時間では、建築の話だけではなく、大学生活のことや、先生自身の進路選択等についての質問に、一つ一つ丁寧にお答え頂きました。

最後に、生徒を代表して1年6組の坂田君がお礼の言葉を述べ、高田先生とお別れしました。赤門で記念撮影をして、15時30分頃東京大学を後にしました。

③ 東京スカイツリー見学



19時頃まで、東京スカイツリーと快晴の東京の夜景を堪能しました。ホテルでは、豊富なメニューのバイキングで夕食をとり、明日に備えました。



(イ) 12月12日(火)

① 慶應義塾大学



慶應義塾大学三田キャンパス正門で、本校OBの北居功先生が出迎えて下さいました。北居先生は法科大学院の委員長を勤められています。荷物を置かせて頂き、学内を案内して頂きました。

まず、図書館を見学させて頂きました。自習機の配置などにもバリエーションがあり、様々なニーズに対応できるようにな

っていました。

模擬裁判の演習を行う教室を見せて頂きました。生徒は、裁判長席等に座らせていただき喜んでいました。

慶應義塾大学には、創始者である福沢諭吉先生の銅像や旧屋敷跡もあり、歴史の重みを感じました。

時間の都合もあり、慶應義塾大学は見学のみでしたが、洗練された校舎や設備を堪能しました。最後に1年3組杉坂君から北居先生にお礼の言葉をのべました。その後、先生には東京工業大学まで送って頂きました。



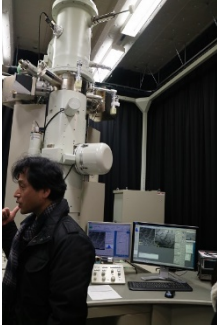
② 東京工業大学

東京工業大学は大岡山駅を降りてすぐで、大変便利な立地でした。駅を降りると、東京工業大学の学生さんが、改札口まで来て迎えに来て頂いていました。

大学に着くとまず、本校OBの東京工業大学工学部教授 藤居俊之先生による簡単な東京工業大学の紹介がありました。

その後、東京姉水会の方々と共に昼食を戴きました。





東京姉水会からは、上野理事、忝山常務理事、草野常務理事、江熊常務理事が来ておられました。昼食を食べながら、生徒に様々な話をして下さいました。

昼食後、施設の紹介していただきました。先ず、図書館を見学しました。工業大学らしい三角をコンセプトにしたデザインの図書館でした。設備が大変充実していました。

藤居先生が研究で使われている、走査型電子顕微鏡を見せて頂きました。電子顕微鏡で物を観察する仕組み、実際の映像等を見せて頂きました。

琵琶湖で行われる鳥人間コンテストに出場したグライダーや、学内で行われる金属フレームカーレースに参加した自作自動車、それらを作成することができる工房など、学生が自由にものづくりできる環境があり、生徒は皆興味深く見学していました。



最後に、生徒代表で1年6組松本君が藤居先生、東京姉水会の皆さん、アシスタントの皆さんにお礼の言葉を述べました。その後、東京工業大学を後にし、品川駅経由で帰途につきました。



5. 最後に

一度は郷里を離れて、客観的に滋賀県や湖北地方を考える時期も必要であると思います。その後、帰郷し故郷を直接支える人、故郷を離れ日本や世界で活躍しながら故郷へ思いを馳せ、間接的に湖北を支援する人、様々な人がいてこそ、継続的な滋賀県や湖北地方の発展があるものと思います。生徒は、今回の連携講座を通して、大きな夢と目標をつかんだことと思います。それを、自らの努力で現実のものとしてもらいたいと思います。

最後に、東京大学の高田先生、慶應義塾大学の北居先生、東京工業大学の藤居先生、東京姉水会の上野さん、忝山さん、草野さん、江熊さんには、母校のためとはいえ、お忙しい中時間を作って頂き、生徒に貴重な機会を与えて頂きありがとうございます。また、東京工業大学のアシスタントの皆さんも大変丁寧な案内と説明を頂きありがとうございました。

生徒感想（抜粋）

- ・講座では、大学生の時が一番大切と言われ、この時期にどれだけの努力をするかによって、夢の実現というものがかわってくると考え、実現のための努力は惜しまないと決意しました。
- ・工学部でも法学部でも英語の力は必須で、プラスα他の言語も必要だということを知った。模試や定期テストで安定して高得点をとれるように文法を習得し、長文に慣れていきたいと思います。
- ・この講座で普段は話すことのなかった人たちとも仲良くなれました。勉強もがんばろうと思わせてくれ、友情も深められるこの講座に参加できて本当に良かったです。
- ・東大などの難関大学と少し距離が縮まったと思います。この連携講座に参加してよかったです。上の大学をねらいたいなと思いました。これから先、勉強をがんばります。
- ・東京大学に行った時、先生は私たちに、近くに住み続け湖北を支える人、遠くから湖北を支える人がいるので、皆さんは大学に入ってまた生徒を支えてくださいとの内容をおっしゃいました。その時に自分は絶対に難関大学に入って将来後輩を支えなければならない義務にかられました。
- ・私は初めて大学のキャンパスに行って校舎や図書館を見学して規模が違うなあと思いました。大学では専門的な内容を学ぶということが分かったので、早くやりたいことや将来のことを考えようと思います。どの大学に行っても先生方や東京姉水会の方が英語が大切だとおっしゃっていて、東京大学での中国の生徒さん、東工大のペルーの留学生さんは、英語と母国語と日本語の三か国語を話していらして、それくらいに自分もなれるように、まずは英語をしっかりと使えるように勉強をがんばります。
- ・私は初めて大学を訪れました。あんなにも大学が広いところだということを知りませんでした。学生の皆さんが、楽しく熱心に取り組んでいる姿が目に残っています。
- ・この講座を受けるにあたって「東京との距離をもう少し近く」という目標を勝手に決めていたが、その目標は大いに達成されたと思った。以前までの「地元の大学に入って」という考えのほかに「遠くに行って自分のやりたいことを探す」という新たな選択が自分の中に生まれた気がした。
- ・オープンキャンパスに参加しても絶対に味わうことのできない、実際に授業を行っている平日にこのような大学に行くことができたこと、また特別な場所等にも案内していただいたことなど、私たちは地域の方だけでなく他府県におられる虎高出身の方々にも支えられているんだなあということを実感しました。
- ・大学は消去法で行くのではなく、自分が行ってしたいことがある大学に行きたいと思いました。ぼくはまだ一年生なので、これから目標を決めてそれに向けてがんばれば絶対に目標を果たすことができると思います。この講座に一年生のうちに参加してよかったです。

お世話になった方々や東京姉水会の方々へのお礼の言葉

- ・今回はお忙しい中、僕たちに講義や大学内を案内してもらい、ありがとうございました。ぼくはまだ一年生なので、これからたくさん勉強して「自分のしたいこと」「夢」のある大学へ進学できるようにがんばっていきます。
- ・お仕事を休んでまで僕たちにキャンパス紹介や講義などをしていただいて、本当に感謝しています。もし東京大学や他の大学に行くことになったら、今回お世話になった人たちのような講座をしたいと思います。
- ・東京姉水会の方々には、少し緊張していた私たちにやさしく声をかけてくださったり、いろんなことを教えてくださったりしました。本当にありがとうございました。
- ・優しく丁寧に紹介していただいてありがとうございました。僕も、自分の意志で行きたい大学を決めて、本気で頑張ろうと思います。そして、そこで能力を身につけてその後の人生も充実できるようにがんばります。
- ・最先端の研究について、いろいろと説明してくださりありがとうございました。将来の進路にこの経験を生かしていきたいと思います。また、東京姉水会の方々、食事の時などに積極的に話しかけてくださってありがとうございました。
- ・平日のお忙しい時間に来ていただき、ありがとうございました。先生方の話などは、どれも興味深くとてもよい時間を過ごすことができました。
- ・私たちのために準備や貴重な講義をしてくださってありがとうございました。普段学べないことや初めてのことばかりで、とても楽しかったです。この経験を無駄にせず、志望校を決める時など今後に生かしたいです。
- ・日本でもトップクラスの難関大学を訪れることができ、とてもよい体験になりました。図書館は驚くほど大きくて、興味をもちその時間が最も楽しかったです。本当にありがとうございました。
- ・大学のホームページやパンフレットには載っていないようなことまで知ることができ、二日間とても楽しかったです。実際に東京で仕事をされているのを見て、自分の夢をかなえるのは不可能ではないと感じました。この二日間は私にとって、いい刺激がもらえ、目標に向かって一歩踏み出すきっかけとなりました。